

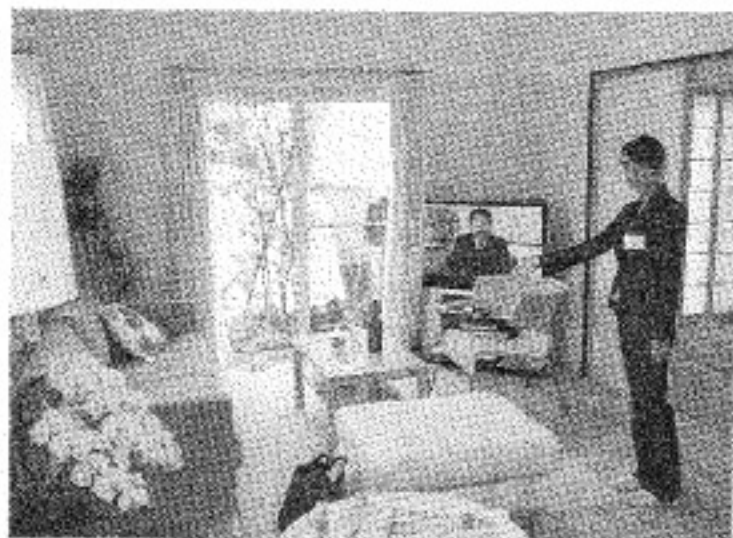
ちば経済

エコハウス「エネージュ」登場

高い断熱性を実現

典が行われた。従来の住宅より断熱効果が高く、「標準的な家庭で年間光熱費が約18万円節約できる」と同社はアピールする。県内では今後3年間で200棟の販売を計画する。

神戸市の住宅建設販売会社、ヤマト住建(西津昌廣社長)が新開発した環境配慮型の戸建て住宅「エネージュ」の首都圏第1号モデルハウスが船橋市大穴南に完成し、18日にオープン式



高い断熱効果を実現した「エネージュ」のモデルハウス＝船橋市大穴南

「究極のエコハウス」は、断熱材で壁や屋根をうたうエネージュを外側から覆う「外断

年間光熱費を18万円節約

熱」で施工。さらに従来のアルミ製が多い窓サッシには樹脂製を使い、ガラスには金属膜加工を施すなどのさまざまな工夫が採用されている。

「断熱につながるいろんなアイデアをパランスよく活用し、高い断熱効果を実現させた。真夏や真冬でもエアコン一台を動かさず快適に過ごせる『魔法瓶』のような家」と、同社は強調する。

建材には天然木材を豊富に使う一方、ホルムアルデヒドなどの有機系処理剤を一切使用せず、シックハウス症候群の防止に配慮した

のも特徴だ。

標準仕様の場合、販売価格は三・三平方メートルあたり約五十万円。メーカーとの直接交渉などで施工コストを抑えたほか、高価な設備は極力使わず断熱性能だけにこだわり、全体のコストダウンを実現できたという。

西津社長は「地球温暖化防止には産業界の努力だけでなく、家庭から排出されるCO₂を削減することも重要。省エネ仕様のエコハウスに住むことが環境保全につながる」と強調する。

エネージュは昨年十一月に神戸で開発後、関西圏を中心に約三十棟が着工された。今後三年間で関西圏と首都圏を中心に千棟を販売する目標を掲げている。

ヤマト住建 首都圏1号モデル住宅